



## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月14日

上場会社名 日本プリメックス株式会社 上場取引所 東  
コード番号 2795 URL <https://www.primex.co.jp>  
代表者 (役職名)代表取締役会長兼社長 (氏名)中川 善司  
問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)真岡 厚史 (TEL)03(3750)1234  
四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	2,911	7.4	225	12.6	396	65.8	245	63.5
2022年3月期第2四半期	2,711	11.9	200	41.6	239	111.9	150	94.0

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 270百万円(69.3%) 2022年3月期第2四半期 160百万円(76.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2023年3月期第2四半期	円 銭 46.69	円 銭 —
2022年3月期第2四半期	28.56	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
2023年3月期第2四半期	百万円 8,894	百万円 6,659	% 74.9	円 銭 1,265 34
2022年3月期	8,703	6,493	74.6	1,233 85

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 6,659百万円 2022年3月期 6,493百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2022年3月期	円 銭 —	円 銭 0 00	円 銭 —	円 銭 20 00	円 銭 20 00
2023年3月期	—	0 00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	20 00	20 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,900	0.4	492	4.1	525	△18.6	357	△14.3	67.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期2Q	5,523,592株	2022年3月期	5,523,592株
2023年3月期2Q	260,802株	2022年3月期	260,802株
2023年3月期2Q	5,262,790株	2022年3月期2Q	5,262,790株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、決算短信(添付資料)「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### ① 売上高

当第2四半期連結累計期間における国内経済は、新型コロナウイルス感染症の第7波による著しい感染拡大が有りましたが、ワクチン接種の普及による重症化割合の低下や、長期間のコロナ下生活の日常化により消費は拡大傾向となりました。

一方で、ウクライナ紛争による原油価格の上昇、投機的とも思われる短期間のドル円為替相場急上昇の影響により、光熱費や物流コスト、輸入原材料価格は急騰し、食料品を始めとした様々な生活必需品の物価上昇を招いております。

このような経済状況の中、売上高は比較的堅調に推移し、29億11百万円(前年同四半期は27億11百万円)と、前年同四半期と比べ、1億99百万円(7.4%)増加となりました。

なお、商品群別業績は次のとおりであります。

当第2四半期連結累計期間における商品群別売上高は、

ミニプリンタメカニズムは75百万円(前年同四半期と比べ1百万円(1.9%)の増加)、  
ケース入りミニプリンタは15億63百万円(前年同四半期と比べ21百万円(1.4%)の増加)、  
ミニプリンタ関連商品は5億1百万円(前年同四半期と比べ1億6百万円(26.8%)の増加)、  
消耗品は2億32百万円(前年同四半期と比べ19百万円(9.4%)の増加)、  
大型プリンタは53百万円(前年同四半期と比べ2百万円(6.0%)の増加)、  
その他は4億85百万円(前年同四半期と比べ47百万円(10.9%)の増加)となりました。

#### ② 売上総利益

当第2四半期連結累計期間の売上総利益は7億89百万円となり、前年同四半期と比べ27百万円(3.6%)の増加となりました。

#### ③ 販売費及び一般管理費

当第2四半期連結累計期間における販売費及び一般管理費は、5億64百万円と前年同四半期と比べ2百万円(0.4%)の増加となりました。

#### ④ 営業利益

当第2四半期連結累計期間における営業利益は2億25百万円となり、前年同四半期と比べ25百万円(12.6%)の増加となりました。

#### ⑤ 経常利益

当第2四半期連結累計期間における経常利益は3億96百万円(前年同四半期と比べ1億57百万円(65.8%)の増加)となりました。

#### ⑥ 親会社株主に帰属する四半期純利益

税金等調整前四半期純利益は3億70百万円(前年同四半期と比べ1億30百万円(54.6%)の増加)となり、税効果会計適用後の法人税等負担額は1億24百万円(前年同四半期と比べ35百万円(39.6%)の増加)となりました。その結果、当第2四半期連結累計期間における親会社株主に帰属する四半期純利益は2億45百万円(前年同四半期と比べ95百万円(63.5%)の増加)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて3.1%増加し、68億30百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が1億56百万円、商品及び製品が1億81百万円が増加し、受取手形、売掛金及び契約資産が76百万円、原材料及び貯蔵品が43百万円それぞれ減少したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて0.6%減少し、20億63百万円となりました。主な要因は、有形固定資産が21百万円減少したことによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて2.2%増加し、88億94百万円となりました。

## (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて0.5%増加し、17億98百万円となりました。主な要因はその他の流動負債が15百万円増加したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて4.2%増加し、4億36百万円となりました。主な要因は、退職給付に係る負債が19百万円増加したことによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて1.2%増加し、22億35百万円となりました。

## (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2.6%増加し、66億59百万円となりました。主な要因は親会社株主に帰属する四半期純利益2億45百万円の計上、剰余金の配当1億5百万円による、利益剰余金の増加1億40百万円です。

1株当たり純資産は、前連結会計年度末に比べて31円49銭増加し、1,265円34銭となり、自己資本比率は、前連結会計年度末より0.3%増加し74.9%となりました。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前年同四半期に比べ4億22百万円増加、前連結会計年度に比べ7億69百万円増加し、32億16百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によって得られた資金は、1億15百万円（前年同四半期は1億65百万円）となりました。主な内訳は、税金等調整前四半期純利益3億70百万円、減価償却費41百万円、為替差益1億63百万円、売上債権の減少76百万円、棚卸資産の増加1億31百万円、法人税等の支払額1億35百万円となっております。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によって得られた資金は、6億54百万円（前年同四半期は7億76百万円）となりました。これは主として定期預金の預入による支出3億62百万円に対し、定期預金の払戻による収入が10億30百万円であったことによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により支出した資金は1億9百万円（前年同四半期は1億24百万円）であり、これは主として配当金の支払額1億3百万円によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当事業年度の連結業績予想につきましては、2022年3月期決算短信（2022年5月13日開示）により公表いたしました通期の数値に変更はありませんが、今後の進捗を精査した結果、業績予想に変更が生ずると判断した場合には速やかに公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,424,518	4,580,525
受取手形、売掛金及び契約資産	1,563,702	1,487,500
商品及び製品	330,094	511,665
仕掛品	6,325	457
原材料及び貯蔵品	292,095	248,229
その他	11,125	2,634
貸倒引当金	△312	△297
流動資産合計	6,627,548	6,830,714
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	211,429	204,662
機械装置及び運搬具（純額）	8,799	8,508
工具、器具及び備品（純額）	38,434	31,950
土地	963,918	963,918
リース資産（純額）	106,075	97,977
有形固定資産合計	1,328,658	1,307,017
無形固定資産		
その他	21,690	17,504
無形固定資産合計	21,690	17,504
投資その他の資産		
投資有価証券	613,112	615,447
繰延税金資産	95,234	109,310
その他	22,515	20,405
貸倒引当金	△5,705	△5,695
投資その他の資産合計	725,157	739,467
固定資産合計	2,075,505	2,063,989
資産合計	8,703,054	8,894,704

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,437,607	1,434,070
未払法人税等	159,028	151,039
賞与引当金	47,443	51,813
その他	146,259	161,604
流動負債合計	1,790,339	1,798,527
固定負債		
役員退職慰労引当金	172,759	177,190
退職給付に係る負債	208,863	228,388
その他	37,597	31,376
固定負債合計	419,220	436,954
負債合計	2,209,559	2,235,482
純資産の部		
株主資本		
資本金	393,997	393,997
資本剰余金	283,095	283,095
利益剰余金	5,990,852	6,131,316
自己株式	△158,900	△158,900
株主資本合計	6,509,045	6,649,509
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△15,551	9,711
その他の包括利益累計額合計	△15,551	9,711
純資産合計	6,493,494	6,659,221
負債純資産合計	8,703,054	8,894,704

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	2,711,332	2,911,162
売上原価	1,949,084	2,121,745
売上総利益	762,248	789,416
販売費及び一般管理費	562,188	564,200
営業利益	200,059	225,215
営業外収益		
受取利息	244	525
受取配当金	12,755	17,043
為替差益	22,549	154,158
その他	4,869	976
営業外収益合計	40,420	172,703
営業外費用		
支払利息	1,015	974
その他	5	8
営業外費用合計	1,021	983
経常利益	239,458	396,936
特別損失		
固定資産除却損	58	0
投資有価証券評価損	-	26,845
特別損失合計	58	26,845
税金等調整前四半期純利益	239,400	370,091
法人税、住民税及び事業税	81,818	142,390
法人税等調整額	7,297	△18,019
法人税等合計	89,115	124,371
四半期純利益	150,284	245,720
親会社株主に帰属する四半期純利益	150,284	245,720

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	150,284	245,720
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,777	25,262
その他の包括利益合計	9,777	25,262
四半期包括利益	160,061	270,982
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	160,061	270,982
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	239,400	370,091
減価償却費	42,966	41,166
投資有価証券評価損益 (△は益)	-	26,845
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	10,043	19,524
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△7,734	4,431
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△44	4,369
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,012	△25
受取利息及び受取配当金	△13,000	△17,568
為替差損益 (△は益)	△21,865	△163,574
売上債権の増減額 (△は増加)	△23,036	76,202
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△128,522	△131,838
仕入債務の増減額 (△は減少)	72,670	△3,536
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△19,376	9,167
その他	44,130	△1,344
小計	194,618	233,910
利息及び配当金の受取額	12,999	17,300
利息の支払額	△999	△974
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△41,296	△135,115
営業活動によるキャッシュ・フロー	165,322	115,120
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△958,817	△362,754
定期預金の払戻による収入	1,816,369	1,030,486
有形固定資産の取得による支出	△23,892	△12,788
投資有価証券の取得による支出	△51,500	-
その他	△5,200	△439
投資活動によるキャッシュ・フロー	776,959	654,503
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△105,511	△103,777
その他	△18,684	△5,681
財務活動によるキャッシュ・フロー	△124,195	△109,458
現金及び現金同等物に係る換算差額	14,288	109,249
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	832,374	769,414
現金及び現金同等物の期首残高	1,962,328	2,447,336
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,794,702	3,216,751

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

当社グループの報告セグメントが「ミニプリンタの開発・製造・販売事業」のみであるため、記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

当社グループの報告セグメントが「ミニプリンタの開発・製造・販売事業」のみであるため、記載を省略しております。